

第3表 耐火度試験

No	耐火度SK	No	耐火度SK	No	耐火度SK
102	29	121	27+	140	27以下
103	31	122	32+	141	27以下
104	30	123	30-	142	27以下
105	31	124	29	143	32.5
106	29+	125	30+	144	27以下
107	29+	126	32+	145	27以下
108	29+	127	29.5	146	33
109	29-	128	29-	147	29-
110	31	129	29.5	148	27以下
111	28+	130	29+	150	27以下
112	29	131	27以下	151	27以下
113	28.5	132	27以下	152	27以下
114	28+	133	27以下	153	27以下
115	32+	134	27以下	154	27以下
116	29	135	27以下	155	33+
117	29+	136	27以下	156	27以下
118	28+	137	31	157	33+
119	27以下	138	27以下	158	27以下
120	27以下	139	27以下	159	27以下

耐火度試験；日鉄釜石製鉄所

102~113	A地点	久慈含粘土層中の粘土
114~118	B地点	"
119~130	C地点	"
131~135	D地点	久慈上部礫岩層中の含粘土層中の粘土
136~148	E地点	岩静炭礫坑内石炭層中の粘土
149~150	F地点	大門前炭礫坑内石炭層中の粘土
151	G地点	
152~159		三金炭礫坑内石炭層中の粘土

553. 32 : 5508 (521. 53) : 622. 19

岐阜県文珠村エノキ谷のマンガン鉱床調査報告

宮本 弘 道\*

Résumé

On Manganese Ore Deposits at Enokidani, Monju Village, Gifu Prefecture.

by

Hiromichi Miyamoto

The manganese ore deposits at Enokidani occur in cherty rocks of Chichibu Palaeozoic

\* 鉱床部

10 鉱 量

採掘場別及び耐火度別鉱量は次の通りである。

(第4表より第6表迄)

第4表 推定鉱量

		面積m <sup>2</sup>	平均 厚さm	比重	鉱量屯
SK32以上	第二採掘場	7,400	0.7	2.5	12,950
SK32~SK30	海岸採掘場	26,450	1.6	2.5	105,800
"	第一採掘場	2,700	0.3	2.5	2,020
"	第二採掘場	7,400	0.2	2.5	3,700
SK30以下	海岸採掘場	26,450	5.6	2.5	370,300
"	第一採掘場	2,700	2.0	2.5	13,500
"	第二採掘場	7,400	5.5	2.5	101,750

第5表 予想鉱量

	面積 m <sup>2</sup>	平均 厚さ m	比重	鉱量 屯
SK32~SK30	300,000	0.9	2.5	675,000
SK30以下	300,000	4.5	2.5	1350,000

第6表 耐火度別鉱量

	SK 32+	SK32~SK30	SK 30-
推定鉱量	12,950t	111,500t	485,500t
予想鉱量		675,000t	1350,000t

参考文献

- 佐々保雄；地質学雑誌 39, 467, 1932,  
 " ; " 39, 468, 1932,  
 " ; " 39, 469, 1932,  
 大石三郎；岩波講座 1932,

以上(昭和24年6月調査)

formations.

Field and laboratory observations reveal that these deposits are of hydrothermal replacement origin. The ore consists chiefly of rhodochrosite with considerable amount of quartz or other Mn-silicates. The deposits may give promise of additional reserves towards the lower extension.

要 旨

昭和 25 年 3 月 19 日 1 日間岐阜県本巣郡文珠村因藏洞字エノキ谷のマンガン鉱床を調査した。本鉱床は奥村鉱山の八号坑坑口の南方約 500m の地点にあつて、チャートを母岩とする熱水性の交代鉱床である。約 80m の間に散在する鉱床中延長 28m の鉱床が鉱化状態最も優勢で、鍾幅平均 1m、露頭より約 27m 下部まで採掘されている。鉱石は菱マンガン鉱が主である。今後の探鉱は最下部坑道の西延長部及びその下部に向つて行わべきである。下部に対しては相当期待をおくことが出来るものと考えらる。

昭和 25 年 3 月 19 日 1 日間岐阜県文珠村エノキ谷のマンガン鉱床を調査したので、その結果を報告する。

この地域は調査当時出願中の区域につき、鉱区関係の事項は省略する。

1. 位置及び交通

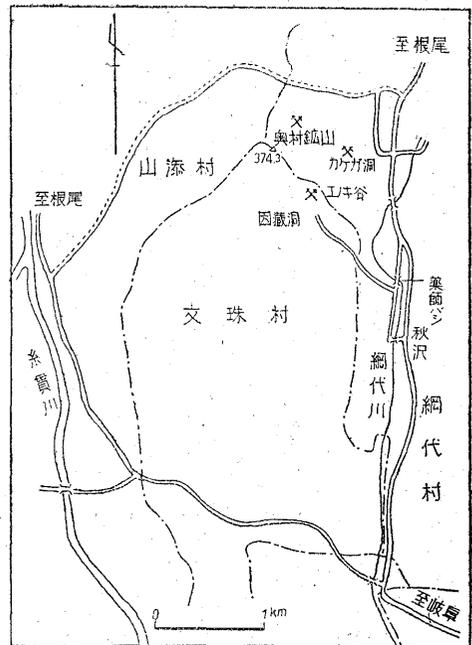
マンガン鉱床の位置：岐阜県本巣郡文珠村因藏洞字エノキ谷。五万分の一地形図谷汲によれば、この位置は網代村に属するが、文珠村当局の土地台帳では文珠村に属するから、文珠村内として報告する(岐阜駅の北々東約 13km の位置にある)。

露頭に至る経路；

東海道線岐阜駅 根尾方面行バス 11 km → 西郷村大塚

北上・トラック直行可能 約 3km → 網代村地内薬師橋 西北上

トラック直行可能 → エノキ谷口 徒歩 約 200m → 露頭

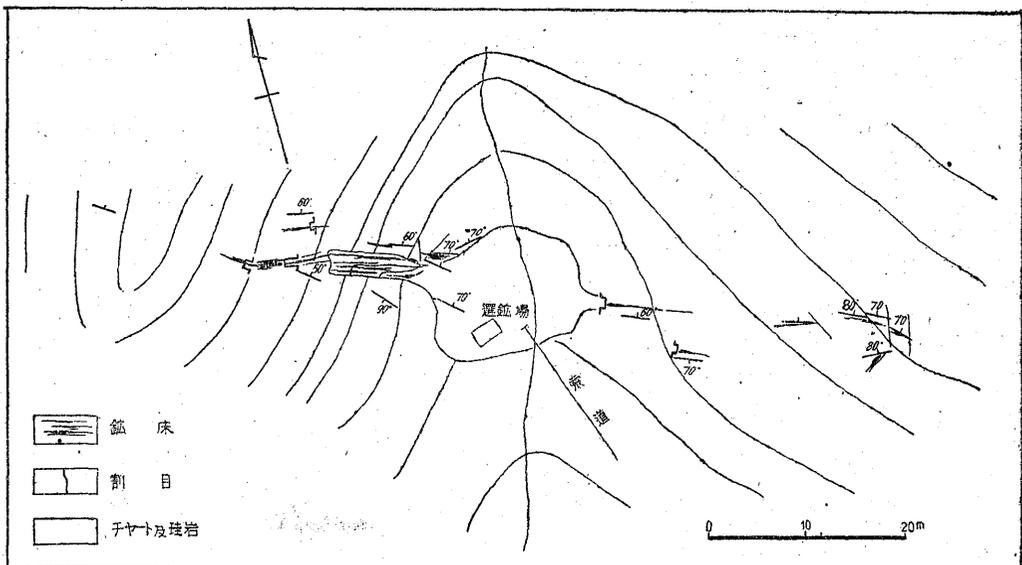


第 1 図 岐阜県文珠村エノキ谷位置・交通図

2. 地形及び地質

本地域は木曾川支流系貫川が根尾谷から離れる谷口の北東丘陵地を占めて、海拔高度 400m 以下の丘陵地よりなる。チャート・珪岩等抛り所が急傾斜の崖・山陵をなす位で、概して谷斜面は緩かである。

四近の地質は古生代の硬砂岩・チャート・珪岩・粘板岩・輝緑凝灰岩等よりなり、その走向は N 70°W、傾斜



第 2 図 因藏洞エノキ谷地質鉱床図

は  $N60^{\circ}\sim 70^{\circ}$  で、略々南北に走る割目が多い。

### 3. 鉍床

本地域のマンガン鉍床は奥村鉍山の八号坑口の南方約 500m の位置にあつて、熱水性の交代鉍床で、母岩はチャートが主で、珪化作用・粘土化作用を受けている。エノキ谷底を挟んで  $N70^{\circ}W$  の方向に沿うて約 80m の間に露頭が散在している。その傾きは垂直乃至  $N70^{\circ}$  である。

エノキ谷底より東の部分は鉍体の連続性が弱く、鍾幅 10cm 以下、延長も 10m 以下で、鉍化状況劣勢である。

エノキ谷底より西方の鉍床中その谷底に接するものは、鉍化状況が優勢である。旧坑により推察すると、延長は 28m、鍾幅は平均 1m 程度、傾斜延長は約 27m まで採掘されている。その間鉍床は、上下 2 回急屈曲して鍾幅が 2m 以上に膨大していたと考えられる。最下部の坑道の鉍化状況も優勢で、約 28m 鍾押掘進されて、その引立状況より推定して、更に下部に急屈曲があるものと考えられる。その鉍床の北側に沿うて酸化鉍とパラ輝石が胚胎するが、鉍化作用が極めて弱い。西端の露頭も酸化やけの域を出ない。

### 4. 鉍石及び品位

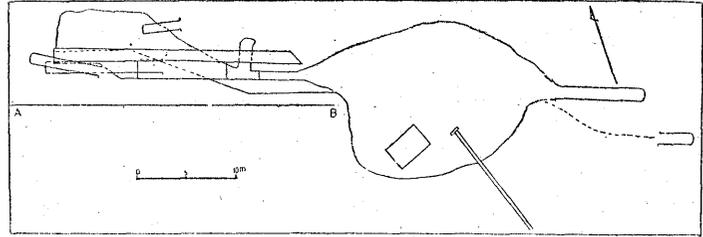
鉍石を構成するマンガン鉍物は主に菱マンガン鉍・パラ輝石で、割合に菱マンガン鉍が多い。酸化鉍は軟マンガン鉍・硬マンガン鉍である。鍾尖はパラ輝石・石英が多くなるが、鉍床急屈曲の所は石英とマンガン鉍物とが幅 5cm 程度の縞をつくり、割合に鉍石の品位が低くなる。概して黄鉄鉍が少く、方解石は細脈をなして鉍石中を走っている。

別表に本地域のマンガン鉍石の分析値が示されているが、菱マンガン鉍が鉍石の主体をなす関係上、その品位は Mn 42~3% が最上で、平均 Mn 37~8% の程度である。

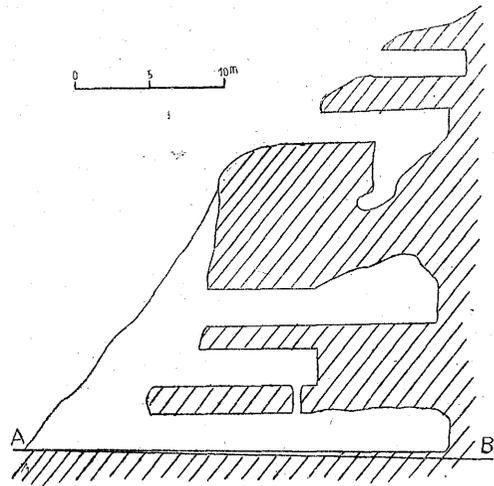
### 5. 結論

延長 28m の鉍床は西延長部及び下部に於て鉍況優勢であり、相当な期待をおく事が出来ると考えられるから、その最下部坑道の西延長とその下部の鍾押探鉍を行い、その結果を俟つて更に 10m 下部の水準に於て鍾入坑道を開さくする事を計画して、鉍量の増加を計るべきである。その他の鉍床は鉍化状況が劣り、期待がおけない。

(昭和 25 年 5 月)



第 3 図 因蔵洞坑内図



第 4 図 因蔵洞主要坑道断面図